



shutterstock.com • 178982279

# 離魂記

西崎穂璃

# 授業目標

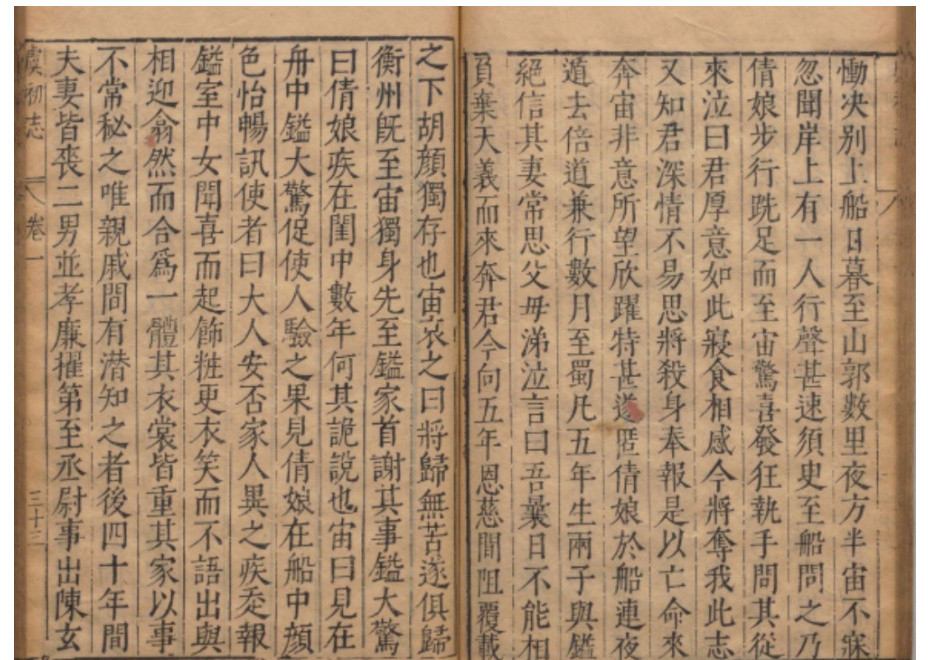
- ▶ 文章の構成や文体の特徴について理解し、表現の特色を踏まえながら作品の主題を考えることができるようになる。
- ▶ 小説作品の背景にある社会や人生に対する古人のものの見方や感じ方、考え方の特色を理解することができる
- ▶ 日本の言語や思想、文学などが近世までの歴史において、特に中国から強い影響を受けつつ独自の発展を遂げてきたことについて理解する。

# 授業内容

- ▶ 中国の小説に書かれた当時の文化にふれるとともに、物語の内容をしっかりと理解する。
- ▶ 仮定・疑問・詠嘆・反語・使役・禁止・限定など漢文の句法について理解する。
- ▶ 構成の巧みさについて理解する。
- ▶ 史伝や思想の文章とは異なる虚構の世界を味わう

韋壯(著).離魂記1. 所蔵：国立公文書館. 収録：国立公文書館デジタルアーカイブ.  
[https://jpsearch.go.jp/item/najda-KBdJcEzwUK0Dukr1toKYtgqDuG9gHbaz\\_0003](https://jpsearch.go.jp/item/najda-KBdJcEzwUK0Dukr1toKYtgqDuG9gHbaz_0003)

二次利用条件  
<https://www.digital.archives.go.jp/support/use.html>

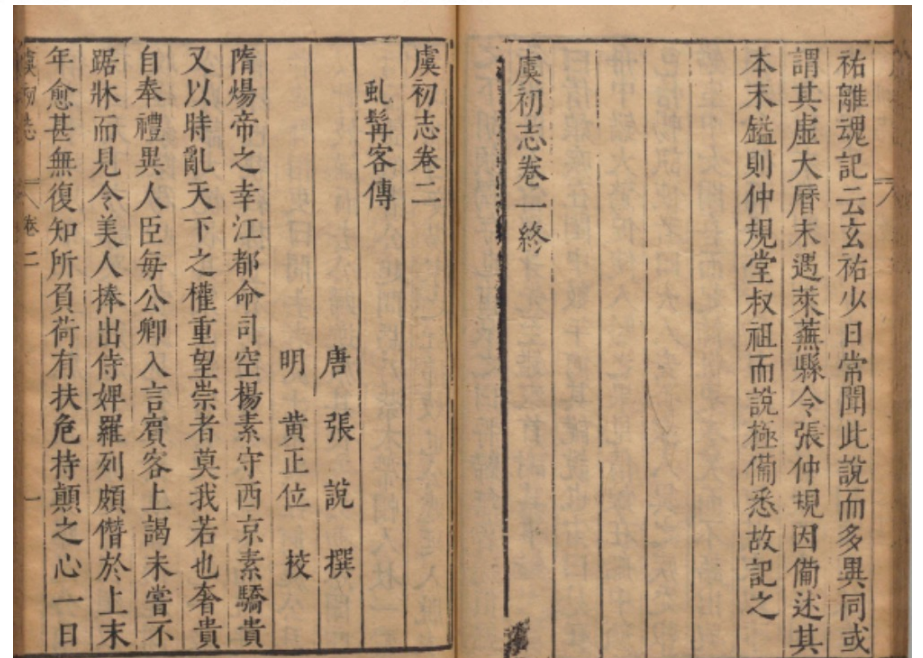


# 離魂記について

衡州の長官の張鎰は甥の少年王宙を愛し、娘倩娘との結婚を考えている。成長していった二人の間には愛の気持ちは芽生えていた。ところが、倩娘は王宙を慕うあまり魂が身体から離れ、上京する王宙に途中で追いつき、成都で五年間過ごし、二児をもうけて王宙と共に衡州に帰ってくる。そして病んで抜け殻のようになった自分のもとの身体と一体になるという話である。

韋壯(著).離魂記1. 所蔵：国立公文書館. 収録：国立公文書館デジタルアーカイブ.  
[https://jpsearch.go.jp/item/najda-KBdJcEzwUK0Dukr1toKYtgqDuG9gHbaz\\_0003](https://jpsearch.go.jp/item/najda-KBdJcEzwUK0Dukr1toKYtgqDuG9gHbaz_0003)

二次利用条件  
<https://www.digital.archives.go.jp/support/use.html>

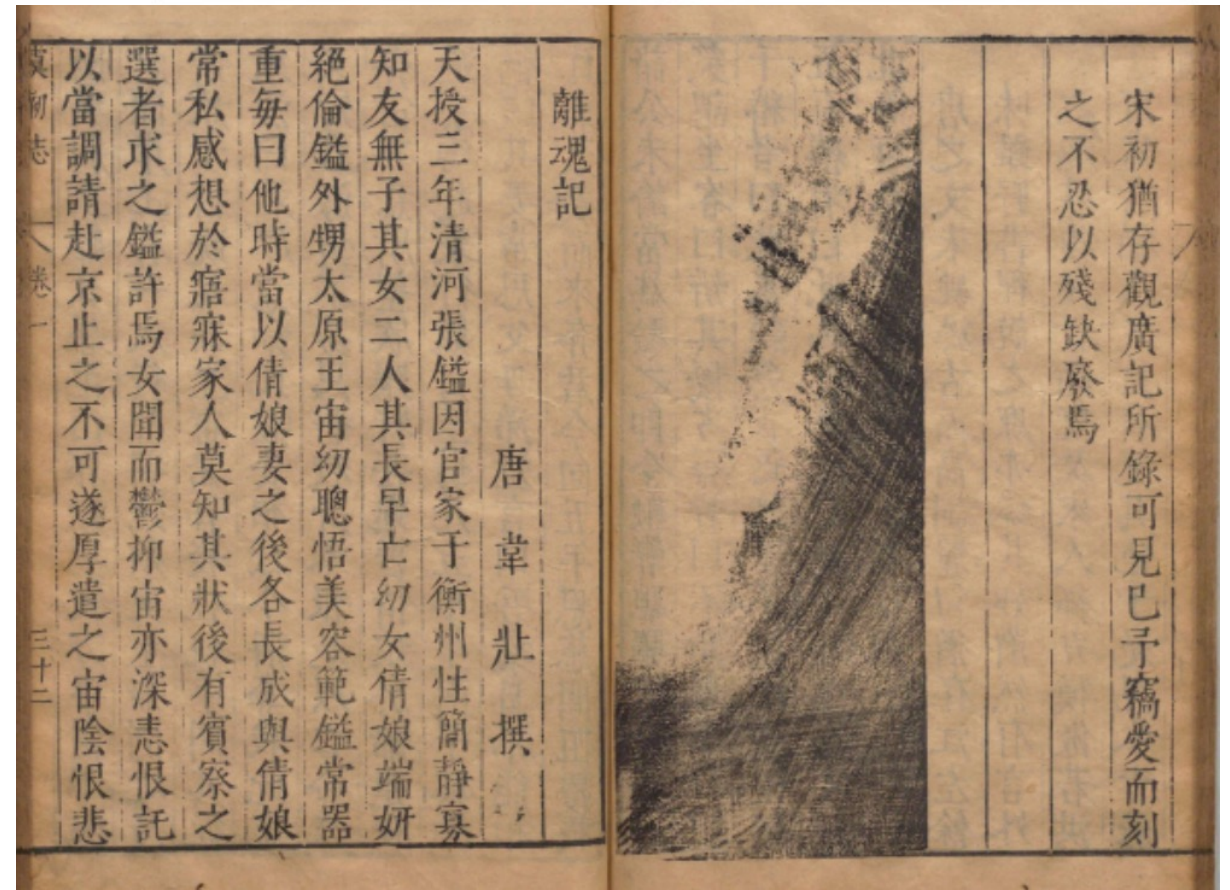


# 離魂記を理解しよう！

離魂記の内容を句法や背景知識などをおさえながら内容をみんなでおさえよう。

韋壯(著).離魂記1. 所蔵：国立公文書館. 収録：国立公文書館デジタルアーカイブ.  
[https://jpsearch.go.jp/item/najda-KBdJcEzwUK0Dukr1toKYtgqDuG9gHbaz\\_0003](https://jpsearch.go.jp/item/najda-KBdJcEzwUK0Dukr1toKYtgqDuG9gHbaz_0003)

二次利用条件  
<https://www.digital.archives.go.jp/support/use.html>



## 離魂記について理解を深める①

物語のクライマックスは、体を離れて飛んで行った情娘の魂は家から出てきた情娘と何も喋らず、動画のように両者の体がピッタリと合わさるといったものになった。これは、私たちにとって異様な光景である。

なぜ父親の張鎰は、娘の駆け落ちを認めただのか？

## 離魂記について理解を深める②

- ・ 倩娘(娘)の異常な行動について

→王宙を愛する気持ちは変わらなかったが、親がいう約束に対して不満は言えない。当時、親に決められていた結婚、儒教的に倫理に当然当然従うべきとされていた。せんじょうは、親の義務と王宙に対する愛に挟まれていて選択肢はなかった。幼馴染みで相思相愛の二人の若者が今まで決して礼に反する行動ははなかったが、せんじょうは夜半に裸足で王宙が乗っている舟に駆け付けるという行動を取っている

- ・ 王宙の異常な行動について

→王宙は倩娘への情愛の気持ちも終始変わらなかった。さらに倩娘の気持ちを優しく受けとめる。倩娘との婚約を被るへの恨みを持っていても倩娘が実家に戻りたいと言うと、すぐに倩娘を慰め、実家へ連れて帰ることにした。